

■しみん基金・KOBЕの中期ビジョン・アクションプラン

ミッション：市民主役の「市民社会」をつくる

バリュー：「自発性・自律性」、「主体的な参加」、「多様性の尊重」、「連携・協働」、「地域愛」

目標 (Vision)	事業 (Activities)		結果 (Output)				成果 (Outcom)	影響 (Impact)	
			「事業」がもたらす製品やサービスなど						
			2017年度	17年度末目標寄付・会費	2018~20年度	20年度末目標寄付・会費			
当基金がかかげるビジョン	当基金のあるべき姿		「事業」がもたらす製品やサービスなど				「結果」がもたらす人や組織の変化 (2020年度)	「成果」がもたらす地域や社会の変化	
<p>「チャリティタウン・KOBЕ」</p> <p>KOBЕをチャリティで溢れる街にしよう！</p> <p>誰もがお互いを身近な行動の中で応援し合うことができる、未来をサキドリした街・KOBЕを創ろう！</p> <p>・訪れたい街・日本一</p> <p>・住みたい街・日本一</p>	<p>【市民・企業】</p> <p>主体的な社会参加ができる市民・企業を育む</p> <p>身近なアクションを通じて社会に貢献する</p>	<p>↓</p> <p>地域社会の課題を知る</p>	①募金箱・自販機募金	12か所→25か所 × ¥4,000	100,000	設置箇所数50箇所、年20万円	200,000	<p>①寄付・会費収入増加</p> <p>300万円(16年度)→900万円</p> <p>・正会員50人、賛助会員200人 (NPO系:企業系=5:5/若返り化)</p> <p>・寄付つき商品の展開</p> <p>・職域募金の開拓</p> <p>②助成事業1→2プログラム</p> <p>年間250万円(16年度)</p> <p>→250万円(～19年度)→300万円</p> <p>・草の根(従来)</p> <p>・助け合い基金</p>	<p>・寄付/ボランティアによる市民参加と、行政による施策展開、企業のCSV活動を組み合わせることで、地域の課題解決が図られている。</p> <p>・チャリティショップ/チャリティイベントの推進</p> <p>・寄付/ボランティア参加率の向上</p> <p>・多様性が尊重される街</p> <p>・行政・企業との対話促進</p>
			②古着チャリティ(オレンジスリフティ)	年20万円→年25万円 古着回収BOX設置店舗3→10ヶ	250,000	古着回収BOX設置20ヶ所、年36万円、外部イベント参加による周知	360,000		
			③Tポイント寄付(Yahoo募金)	年5万円→年7万円	70,000	年9万円	90,000		
			④古本キフ(ブックオフ)	年1万円→年3万円	30,000	年6万円(=1000円×5人×12か月)	60,000		
			⑤寄付つき商品	1商品→5商品	600,000	年120万円(=1万円×10商品×12か月)	1,200,000		
			⑥新規手法の開拓			Goodo、かざして募金etc	175,000		
			⑦情報発信改善	HP・FB 4件/月→8件/月 メルマガ 8件/年→12件/年		HP・FB 8件/月 メルマガ 12件/年			
			⑧データベース活用	面談記録の保存		マッチング機能の強化			
			⑨こうべあいウォーク	参加150人→200人 × ¥1000	200,000	参加者250人 × ¥1,000、年25万円、新ガイド役の育成、	250,000		
			⑩シネマ&トークサロン	年2回開催 × 20人 × ¥500(寄付)	20,000	年4回開催 × 20人 × ¥500、年4万円	40,000		
	⑪おたがいさま	2団体→5団体 × 1万円	50,000	10団体 × 1万円、年10万円 助成団体交流会での呼びかけ	100,000				
	⑫しみん基金タクシー(?)	試行の開始		運用の開始 年1.2万円(=5千円/人 × 5% × 5人/月 × 12)	15,000				
	⑬マスコミ × 協賛啓発イベント	16社・28万円→28社・36万円	360,000	28社・36万円 × 年2回	720,000				
	⑭チャリティパーティー	小規模なパーティー(英国PUB風)開催の定期化		FRパーティーの再開(5年に1度?)					
	⑮ソーシャルサロン(?)	年2回開催 × 20人 × ¥500(寄付分)	20,000	CSR連携の強化、年4回開催 × 20人 × ¥500、年4万円	40,000				
	⑯「チャリティタウンKOBЕ」レポート	活動訪問レポートの改善点検討		レポートの発行(NL廃止)、WSの定期開催 ¥500 × × 100冊/年					
	<p>↑</p> <p>課題の解決に参加する</p>	<p>↓</p>	⑰あしさい基金(職域募金)	プログラムの定型化、1→2か所	300,000	新規団体の開拓、職域募金5か所 × 年15万円	750,000	<p>③賛助団体5→100団体</p> <p>・寄付つき商品等協働開発</p> <p>・ハンズオン支援</p> <p>・しみん基金タクシー</p> <p>→支援先団体のネットワーク化</p>	
			⑱公開審査会改革	正会員34→38人、賛助会員40→80人 休日開催、会員投票導	800,000	正会員50人、賛助会員200人 賛助会員参加型ハンズオン支援、寄附付き商	1,500,000		
			⑲直接(大口)寄付	100万円 × 1口 + 10万円 × 1口	1,100,000	100万円 × 2口 + 10万円 × 5口 遺贈寄付、会員→大口寄付	2,500,000		
			⑳TANIMACHI企画	支援者50人→60人 × 5千円	300,000	支援者100人 × 2か所 × 5千円、助け合い基金の運用開始、	1,000,000		
<p>【NPO】</p> <p>市民・企業から信頼される自律したNPOを育む</p> <p>地域にある課題を発掘する</p>	<p>個別NPOを直接的に支援する</p>	⑳助成事業(草の根支援)	助成総額200万円/年間5団体		助成総額200万円/年間5団体		<p>④「チャリティタウンKOBЕ」推進</p> <p>・寄付つき商品</p> <p>・「チャリティタウンKOBЕ」レポート</p> <p>・企業・行政との連携</p> <p>→当基金への信用UP</p>		
		㉑活動訪問レポート	年間6団体訪問		年間6団体訪問、ボランティアレポートの養成				
	<p>個別NPOを間接的に支援する</p>	㉒ハンズオン支援型講座事業	2年目フォローアップの改善		仮理想事会 助成先団体のうち年間4団体支援→賛助団体へ				
		㉓寄付つき商品等協働開発	試行の開始		90商品、助成先団体交流会との連携 →賛助団体へ				
<p>【ネットワーキング】</p> <p>協働のつなぎ手としてのプロデュース力を活かす</p>	<p>セクターを超えた連携で地域課題解決を支援する</p>	㉔「チャリティタウン・KOBЕ」推進	構想の具体化		共同広報(訪れたい街・住みたい街・KOBЕ)				
		㉕遺贈寄付研究会	研究会3回開催		遺贈寄付フォーラムの開催				
			専門家ネットワークの形成		相談窓口の開設、年間1口以上の遺贈寄付				
			「終活」との連携		新規寄付メニューの開発				
		㉖助け合い基金	フレーム・しくみの検討、		運用の開始、助成:100万円				
		㉗行政との連携	「つなごう神戸」に参画		「チャリティタウン・KOBЕ」の施策への反映				
		㉘神戸CSRネットワーク	フレーム・しくみの検討		運用の開始				
㉙市民参加型地域課題解決プログラム	プログラム・共同助成の検討		対話の場づくり、年間100万円 × 1団体、複数年可						

※寄付メニューを増やしていくことで、ビジョンに近づいていく！

※事業間の関係性

⑤→⑳	㉘→⑮・⑫
⑦・⑧→⑱	㉒・㉓→⑱
⑳→⑪	㉔→㉕・㉖・⑫
㉗・㉘→㉔	

会費・寄付収入	4,200,000	9,000,000
事業収入等	3,300,000	3,300,000
経常収益合計	7,500,000	12,300,000
経常支出合計	7,500,000	11,300,000
	プラス(助成金支出100万円、経費等280万円)	
経常差額	0	1,000,000